

S-メトクロールの事前の情報募集の仕組みにおいて提供のあった情報一覧(ヒトに対する毒性・疫学研究以外)

No.	文献名	ジャーナル名等	公表年	著者名	著者の所属機関	書誌情報	研究分野	原著/総説	海外評価書での引用の有無	ドシエでの引用の有無	<i>in vivo</i> (動物種)/ <i>in vitro</i>	用量 (mg/kg体重又は mg/kg体重/日)	NOAEL/ NOEL	LOAEL/ LOEL	Klimisch コード	評価の目的との適合性に関する情報	備考
1	Peer review of the pesticide risk assessment of the active substance S-metolachlor excluding the assessment of the endocrine disrupting properties	EFSa journal	2023	European Food Safety Authority (EFSA); Fernando Alvarez, et al	EFSA	DOI: 10.2903/j.efsa.2023.7852	発がん性 遺伝毒性	総説			in vivo/ in vitro					欧州安全機関EFSAが2023年に発表したS-メトクロールに関する毒性評価。2024年に欧州委員会では、S-メトクロールを再登録から外した。日本でもこの総説内容を再評価で使用する必要がある。	

S-メトクロールの事前の情報募集の仕組みにおいて提供のあった情報一覧(生活環境動植物及び家畜に対する毒性)

No.	データ要求 (項目番号)	著者	出版年	論文表題	掲載誌名、号、ページ等	判断理由
1	生活環境動植物及び家畜に対する毒性	European Food Safety Authority (EFSA), Fernando Alvarez et al	2023	Peer review of the pesticide risk assessment of the active substance S-metolachlor excluding the assessment of the endocrine disrupting properties	EFSA Journal. Feb; 21(2): e07852.	EFSAがS-メトクロールについて、2024年に登録を再承認しなかった理由が記載されている。地下水を汚染し、ミミズや土壌生物に悪影響を及ぼす可能性が記載されているため、再評価に利用すべきと考える